

2021年11月23日

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（アンティグア・バーブーダ）
水耕栽培による農業教育促進計画に関する完成式

11月23日、アンティグア・バーブーダのオールセント中学校にて、平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力の水耕栽培による農業教育促進計画の完成式が行われました。被供与団体であるオールセント中等学校は、日本政府の供与額70,770米ドルの無償資金を利用して水耕栽培を整備しました。

本式典には、平山大使、マシュー教育・スポーツ・産業創出大臣、グリーンウェイ教育・スポーツ・産業創出省次官、ミルズ中学校教育官、ホッジ・オールセント中学校長、その他教育省、同校生徒等関係者が出席しました。

平山大使は、アンティグアの独立40周年に祝意を述べ、両国は40年近く良好な関係を築いてきた、コロナ禍で食料安全保障は尚更重要であるが、食料に関しては、自然の恵み、作ってくれた人の労力等への感謝を忘れてはならないと述べ、この水耕栽培施設は、学生自身が食料生産に携わり、その重要性を理解するものと確信する、ここでの取り組みが当国で中核的施設となることを期待すると述べました。

マシュー大臣は、日本からはこれまで農業、漁業分野での支援をいただき、自分自身も2001年に学生として奨学金プログラムで訪日した、当国は乾燥度が高く、スマート農業の必要性は高い中、このプロジェクトで学生が技術を学べる、日本に心から感謝すると述べました。また、ホッジ校長は、同校及び学生を代表し感謝する、本事業を前に進めていきたい、5年後には更に事業を拡大したいと考えており、今後とも協力をお願いしたいと述べました。

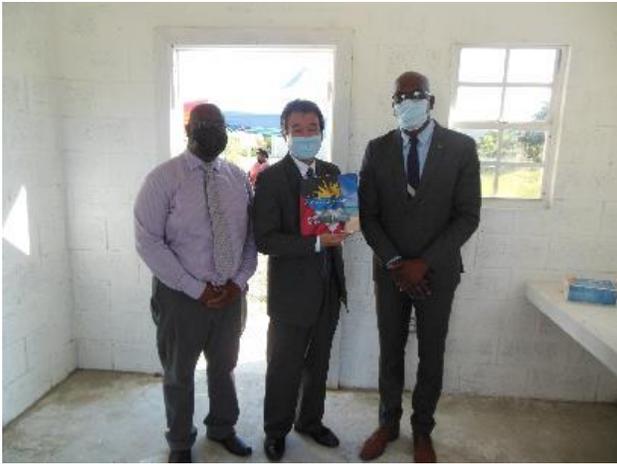
日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でアンティグア・バーブーダに対する支援を実施していく考えです。



マシュー教育・スポーツ・産業創出大臣挨拶



平山大使挨拶



左から、ホッジ校長、平山大使、マシュー大臣



マシュー大臣と平山大使によるリボンカット



水耕栽培設備の説明を聞くマシュー大臣と平山大使
左から、マシュー大臣、ノウエルズ教育省担当官、グリーナウェイ次官、平山大使

お問い合わせ 在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

お問い合わせ 在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp